科目名	復興支援の実際		
授業形態	講義	学年	1
開講時期	2023 年度 前期～後期	単位数	2
担当教員	渡部　琢也、葉山　亮三、高田　正哉、小野　覚久、天野　和彦、豊田　善幸、里見　喜生、大和田　新		
内容および計画	東日本大震災から 10 年以上経過したが、被災地の復興については意見が分かれるところである。特に東京電力福島第一原子力発電所の事故は今だ帰還困難地域があるなど収束していない状況である。本学は被災地の福島県に立地しており、短期大学生として復興支援について学ぶ意義は非常に大きい。そこで本講義では東日本大震災の際に被災され、その後、復興に尽力されてきた方々の復興支援の実際について講義を受け、震災についての理解を深め、大学生としてまた社会人になった後もどのように復興に携わっていくべきかについて学ぶ。また、東日本大震災以外も大きな地震や台風災害など身近な災害についても学びを深め、その復興についても学ぶ。		
1	東日本大震災の教訓から考える－大規模避難所の実態（天野和彦）		
2	防災教育教材さすけなぶる（天野和彦）		
3	復興支援を考える－川内コミュニティ未来ＰＪの取り組み（天野和彦）		
4	伝えることの大切さ、伝わることの素晴らしさ（大和田新）		
5	震災を経験し、真のライフスタイルを見つけた（里見喜生）		
6	4 つの災害を経験して、これからの生き方を知る～１、地震津波　２、原子力災害　３、台風１９号　４、コロナ禍～（里見喜生）		
7	復興の仕組み①　地域課題に挑む（豊田善幸）		
8	復興の仕組み②　趣味で地域に関わる（豊田善幸）		
9	復興の仕組み③　未来を言葉にする（豊田善幸）		
10	復旧から復興へ①　子どもたちの震災（小野覚久）		
11	復旧から復興へ②　子どもたちの生活再建と復興（小野覚久）		
12	復旧から復興へ③　教員・保育者としての心の復興（小野覚久）		
13	地域文化の継承とその方法（高田正哉）		
14	ちいさな黄色い手紙プロジェクト　～愛知、福島、ウクライナを結ぶ～（葉山亮三）		
15	まとめ　福島県における震災の影響について（渡部琢也）		

教科書

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年

参考書	

成績評価

評価方法	割合(%)
講義中の課題実施及び提出状況とその内容	100

学習到達目標	災害についての理解を深める。
先修条件	
実務経験	
その他	非常勤の先生方のご都合で授業実施日が変更になる場合があります。